

福生 FUS-SA

市議会だより

第 79 号

63 年 7 月 25 日

発行 福生市議会

東京都福生市本町5番地
電話 0425 (51) 1511 (代表)



八十八夜も過ぎて夏至を迎えた頃、市内の一隅で『田植え』が行われました。
あいにくの雨の中、見学の子供達もめずらしそう。

—北田園で—

昭和六十三年第一般会計

二千八十八万四千元を補正

総額 百三十二億八千五百四十万円となる

緑一段と深まる芒種(ぼうしゅ)の頃、昭和六十三年第二回
定例会が開かれました。

今回の定例会は、六月十日から開かれ新市長の所信の表明の

あと、専決された三件の報告及び一般会計補正予算(第一号)

等、十六議案と陳情二件が提案され、原案のとおりそれぞれ

決まり、二十三日閉会しました。

また、七人の議員が一般質問を行い、新市長の今後の市政を

問いました。

今回の補正予算の中には、中福生公園(仮称)の用地買収費、四百五十四万八千円が含まれており、この金額を含めた同公園の用地取得費は、総額で三億六千七百二十六万五千円となりました。

同公園は、福生市福生四六〇番地先に新設されるもので、自然湧水の利用や自由広場を設けた約四千四百平方メートルの近隣公園で、六十四年三月頃完成が予定されています。

この公園が完成すると、市民一人当たりの公園面積が約四・六四平方メートル(東京都平均三・四七平方メートル)となり、都下二十六市中八位となります。公園の歴史をひもとくと古く、ヨーロ

ッパでは王侯貴族が使用していた私有の大庭園等が市民の要求で開放されパブリックパークとなりました。

日本では、江戸時代中期以降、飛鳥山、借楽園等のように実質的公園の内容を備えたものがありました。法律に基づき全国的に設置されるようになりしたのは明治六年で、社寺、名区勝跡が公園として布告され、兼六園、栗林公園、水前寺成趣園等がこれに当たります。

公園は行政的には都市公園と自然公園とに大別され、中福生公園は都市公園法(昭和三十二年)に基づき造園される都市公園です。

回会 2例 第定

審議日程

6月	
10日	本会議
13日	本会議
14日	建設委員会
16日	厚生委員会
17日	総務委員会
21日	議会運営委員会
23日	本会議

第一日目 会期を十四日間と定めた後、新市長の所信の表明に続き、通告のあった七人のうち三人の議員から一般質問が行われました。

また、市長から「六月期末手当の支給割合を定める条例」が追加提案され、先議の結果、原案のとおり可決されました。

第二日目 前日に引き続き、四人の議員が一般質問を行った後、「陳情書の取り下げ」及び専決された報告三件の承認がなされました。

その後、十四議案と陳情二件の審議に入り、一般会計補正予算を初め八議案等がそれぞれ各委員会に付託され、表彰条例に基づく自治功労表彰など六議案については原案どおり同意されました。

第三日目 各委員会に付託されていた議案等の審査報告がされ、それぞれ可決されましたが、「非核・平和福生市宣言」制定に関する陳情書については、反対、賛成の討論が行われ、起立採決の結果、賛成少数をもって不採択となりました。

その後、この日新たに提案された中央排水工事請負契約等の審議に入り、いずれも同意及び、諮問どおり答申されました。



整備された国道16号

なが〜い時間がかかりました

建設部長 奥多摩街道は、六十年代より五カ年計画で五日市線の立体交差を除き事業を進めているが、六十二年で全体の三六％を買収、六十四年度までに残りを買収する予定であり、本年度は前年度の二倍を超える予算がついたと聞いているので、一日も早く完成するよう協力していきたい。

整備の遅れている主要道路

今後の取り組みは

質問 国道を拡張整備したことにより基地前商店街が見違えるほどきれいになったが、都市基盤整備の上で道路整備がいかに大切か

再認識した。当市の主要な道路である奥多摩街道、二・二・四号線の多摩橋通り、二・二・二号線の柳通り等は事業が遅れているが、

今後の取り組みを伺いたい。

一般質問



たい。

また、多摩橋通りや柳通りだが、これは都への移管問題があり、現在行っている青梅線の立体交差の調査によってはルートもはっきりしてくると思うので、いずれ機会をみて報告したいと思う。

世界に通用する

人材の育成を

質問 わが国も国際社会での重要な役割を果たさなければならぬ立場となり、世界に通用する人材を育成する必要がある。市長の所信にもあったように、福生市の特性を生かした国際交流の第一歩として、市内の小中学校と横田基地内の学校との交流について伺いたい。

教育次長 国際社会の仲間入りができる人材の育成は重要課題である。本年度から外国人による英語の指導員を導入、都の教育委員

第2回定例会では7人の議員が一般質問を行いました

会による教員の海外派遣にも毎年参加している。

横田基地内の学校交流については、校長会や関係団体等の意見も聞いて対応していきたいと思う。

高齢者対策の

今後の推進は

質問 寝たきり老人や在宅福祉のあり方等、今後の行政運営上重要な施策となってくると思うが、こうした総合的研究機関の設置の考えについて伺いたい。

市長 急速な高齢化社会と家庭環境の変化から、収入があっても福祉サービスを必要とする人がふえつつある。

費用負担の適正化や多様化、総合化を進めるとともに、利用者の選択の幅を広げなければならぬと思っている。したがって今後の高齢者対策について、ご提言に沿った形で努力していきたい。

片倉工業跡地の

利用計画は

質問 片倉工業跡地を買収しているが、この利用に当たっては将来展望に立った計画をし、多様化する地域福祉システムの施設を建設する考えがあるか。

市長 土地開発公社で買収しているが、今後の財政計画を十分検討するとともに、地域福祉中心の計画を考え、現在事務レベルでのプロジェクトで検討している。

都市基盤整備

その後の推進状況は

質問 前市長の重要施策でもあった福生駅西口再開発事業、福生駅及び牛浜駅周辺の自転車駐車場設置、熊川地区の区画整理事業、拜島駅周辺の整備と南北通路の建設について計画の推進を伺いたい。

市長 社会資本のストックは際限がなく、子孫に誇れるまちを残すために、できるだけ市民のコンセンサスを得る努力をすることが必要だと思ふ。これは市民生活を

支える上で極めて重要な施設と認識しており、事業推進に当たっては国や都に要望すべき点はあらゆる手段で行い、市で実施すべきことは積極的に考えていきたい。

建設部長 福生駅西口再開発事業は十年以上も経過し、大変ご心配をいただいているが、基本的な考え方としては、主体は地元で、市は側面から協力する形で現在まできた。各ブロックで活動しているが、できるだけ地元に入っても進めるよう努力したい。

駐車場問題については、プロジェクトで検討しており、その検討結果をみて対応していきたい。東口の自転車駐車場も移転等の問題で時間がかかっているが、ある程度進んだ段階で議会にも相談していきたい。牛浜駅の自転車駐車場も暫定的に整備をしているが、用地の確保をし、何とか解決していきたい。

拜島駅周辺の開発については、昭島市のプランを地元におろして検討しているので、その合意ができた時点で各市と相談すると聞いており、今後積極的に取り組んでいきたい。また南北通路はJRR等と調整する段階にきており、基地

対策事業として防衛施設局と協議していきたい。

熊川地区の区画整理事業は、B調査や地元説明会も終わり、権利者の意識調査をしたが、全体的には理解度が不十分と判断している。この事業を中止してほしいとの陳情も出ているので、話し合いの機会をつくり、できるだけ理解を得るよう努力していきたい。

職員の服務についての

市長の考え方は

質問 行革を進める上で安定した労使関係に努力しなければならぬと思うが、過去において市民から職員の服務規律について批判もあった。そこで地方公務員法の政治的行為の制限等に対する市長の考え方を伺いたい。

また、教職員の活動に対して文部省より通達がきていると思うが教育委員会としての考え方に聞いて聞きたい。

市長 今後の市政運営に当たり、より以上の労使相互の信頼関係が必要であり、市民からも信頼される職員でなければならない。

そのためには、法の精神を遵守し少なくとも市民から批判されることのないよう、職員を教育指導していきたい。

教育次長 教職員についても、市職員と同様に職務専念の義務や政治的行為の制限等が課せられており、学習活動への影響や市民との信頼関係が失われる行為であるので、厳しく制限や禁止がされている。

したがって服務監督については教育委員会はもとより、所属教職員を監督する学校長に対してもこれらの趣旨を教職員に周知徹底するよう指導しているところである。

どうなるのか

中学校給食

質問 中学校給食問題については以前から質問もされ、その答弁も検討委員会を設置したいのとどこであったが、その後の動きはどうか。

教育次長 審議会の設置について教育委員会の了承も得ており、現在諮問している内容は、構成人員、条例化に向けての内容等について検討をお願いしている。

一般質問項目

○福祉対策について

- 1、総合福祉センターの建設計画について
- 2、高齢者対策としての総合的研究機関の考えについて

○都市基盤整備について

- 1、J R 駅周辺の整備と駐車場問題について
- 2、市内における主要幹線道路の現状と今後の対応について

○行政改革と服務について

- 1、当市における行政改革大綱の推進について
- 2、市職員及び教職員の服務等について

○教育行政について

- 1、国際人となるための教育推進のあり方について
- 2、中学校給食について

○横田基地について

- 1、基地と市民生活に対する考え方について
- 2、チームスピリット'88における軍用機飛来について
- 3、昨年同期との離着陸数について

○放射能汚染の安全性について

- 1、学校給食の放射能汚染の安全性について

- 2、市内病院等の放射性物質の管理について

○行政改革について

市長の行政改革に対する基本的な考えについて

○福祉センターについて

総合福祉センターに対する市長の基本的な考えと、市民参加によるプロジェクトについて

○在日外国人の指紋押捺について

- 1、法改正による市としての対応について
- 2、拒否者に対する考え方について

○道路整備について

- 1、加美平立体交差及びその周辺の排水対策について
- 2、本町六町内における道路の新設について

○J R 駅周辺の整備構想について

- 1、福生駅西口における第一小学校の移転と地下駐車場の建設及び東口の富士見通りの整備について
- 2、東福生駅の跨線橋設置について
- 3、熊川駅東側への道路新設について

○加美上水公園周辺の整備について

- 1、旧引き込み線のかけ替えと側道の整備について
- 2、旧引き込み線のかけ替えと側道の整備について
- 4、拜島駅南北通路の建設について
- 5、牛浜駅東側の自転車駐車場及び公衆便所の設置について

- 婦人行動計画の策定について
当市における計画策定の現況等について

○中学校給食について

その後の経過について

○基地問題について

- 1、下水道料金の減免について
- 2、軽自動車税の減免について
- 3、市街地上空飛行の騒音測定の実施について
- 4、今後のE2Cの訓練やブルーインパルス曲技飛行の対応について
- 5、消防協定に対する考え方について

○基地外居住の軍人軍属の対策について

- 6、基地外居住の軍人軍属の対策について
- 7、基地交付金の考え方について

○非核都市宣言について

市として宣言をする考え方があるか

○平和祈念事業について

講演会等の平和祈念事業の市共催を広く市民参加で実施する考え方について

○国民健康保険について

当市における国民健康保険の運営について

○老人福祉について

- 1、老人入院見舞金制度の実施について
- 2、老人アパートの設置について

- 3、託老所の設置について
- 学校教育について
父母負担の軽減に対する考え方について

○片倉工業跡地について

今後の跡地の有効利用について

○横田基地について

- 1、基地に対する基本的な見解について
- 2、基地内での日本人労働者の拳銃携帯について

○生活資金貸付事業について

緊急時における生活資金貸付事業について

○平和運動について

三多摩原水爆禁止運動に対する援助について

○市営プールについて

年間利用の可能な屋内プールの建設と現施設の維持管理について

○福祉行政について

ボランティア活動による福祉行政の推進の考え方について

○職員の採用試験について

外国人の採用の考え方について

○自然の保全について

- 1、緑の保全対策について
- 2、都市農業対策について

○歴史的資料について

市内における遺跡や伝統芸能の保全対策について

行政改革に対する

具体的な姿勢は

質問 市長は今回の選挙で行政改革を公約の一つとして訴えてきたが、具体的な考えはどうか。役所の活性化と意欲の喚起のため、職員先の進路の視察研修の考えと昇給、昇格の考えはどうか。また市民サービスの観点から休祭日も証明類がカードで発行できる方法について、あるいは横田基地と福生市とのかわりについて、どう考えているのか聞きたい。

市長 昨今の市行政をとりまく環境は一段と厳しく、財政基盤の極めて弱い当市にとって、増大する市民要求にこたえ、そして市民福祉の増進をはかっていくためには、行政自ら率先垂範して効率的な運営に努め積極的な財政確保等、行財政全般にわたって改革を進めていくことが市政運営上、最も重要と考えている。

行革の基盤を築き取り組んできた田村前市長の行政改革路線を継承し、ご指導をいただきながら市独自の行革を積極的に推進していきたいと思っている。

将来に向けてのまちづくりという観点から、職員の海外研修も重要であるが経費のこともあり、他の状況等を参考にし、研究していきたい。

行政の活性化は、そこに働く職員の勤労意欲が大きな原動力となり、人事制度も公正な判断で行わ

学校給食の輸入食品

安全性は十分か

質問 ① 一昨年ソ連のチェルノブイリ原発事故により、地球的

れることが非常に大切なことである。現在行われている昇給、昇格等の制度も今後研究させていただきたい。

基地は無い方が望ましいが、国策上やむを得ないと認識に立っている。しかし基地があることによって生ずる障害の除去とか補

規模で食品等に影響が出始め、特にヨーロッパからの輸入食品に対して、国では安全

基準を定めたが、学校給食の安全性と市独自の安全基準について聞きたい。

② 昨年、外国でガン治療用放射性物質をおもちゃと間違え、放射性汚染で死亡事件が発生したが、市として病院等で使用される放射性物質の管理等はどうか



「あの問題できたあー」
(右は今日の献立) 二小で

✓償等の交付金について、全国基地協議会と連携を保ち、国に対して積極的に増額要求をしていきたいと思う。

窓口事務の諸証明発行事務については、申請によって行われており、休祭日の発行は現行法令下では市独自の実施は困難と思う。

市長 ② 市内の病院ではガン等の治療としての放射線治療は実施されていないので、放射性物質はないと思われる。使用する場合には、都を通じて国の許可が必要という非常に厳しい条件となっている。

教育次長 ① 原材料から加工品まですべての輸入食品について厳しいチェックを受け、一定の安全基準のもとに許可された物資のみが供給されている。学校給食物資の殆どが、東京都学校給食会より購入しており、品質分析を更に行い安全基準で供給されているので影響はないと判断している。

国の基準は三百七十ベクレル以下となっているが、都や他市では独自の安全基準を設けているところはない現状である。

基地問題を

どう考えているのか

質問 ① 基地と市民生活の考

えとして、騒音問題を中心に質問してきたが、今後市長は行政を担っていく上で、市内上空の旋回飛行とか夜間エンジンテスト等について、どのような考えをもって対応しようとするのか。また、市内に居住する米軍人軍属の実態と、ごみ処理等の行政サービスあるいは近隣騒音公害問題を聞きたい。

② チームスピリット 88期間中、海兵隊のF18ホーネットとか第四一電子戦術飛行隊のE2C130、あるいはタイやオーストラリア空軍機が横田基地で訓練をし、市民に迷惑をかけたことに対して、市長はどう考えるのか。

③ 昨年同時期と比較しての離着陸数と長期的データによる飛行機騒音の影響について聞きたい。

市長 ① 都市化の進んだ地域に所在する基地であり、市街地を避けることはなかなか困難かと思うが、できれば多摩川上空を飛行経路として設置していただくよう、また、夜間の騒音や正月三が

日の飛行停止を司令官に要請していきたい。

米軍人軍属の方が市内に居住している以上は行政サービスを考えるを得ない。しかし市民生活に影響を及ぼす行為があれば、その実態を把握した上で、市としてかかるべき対応を考えていく。

② さまざまな飛行機が来ていることは、市民にとって迷惑であることは事実であるが、横田基地は中継輸送基地として、また地位協定に基づき使用されているものと理解する。外国間の演習でもあり、国際的、軍事的な問題であるので中止要請はむずかしいと思うが、期間中は飛行回数も多くなると予想されるので、騒音や安全対策に万全を期するよう、関係機関に申し入れたいと思う。

市民部長 ③ 三月は本年が千五百三十三回、前年が千九百十二回で三百七十九回の減、四月は本年が千四百三十一回、前年が千二百四十五回で百八十六回の増、五月は本年が千七百三十一回、前年が九百二十九回で八百二回の減となっている。

長期的データを見ると飛行回数が減ってきていると思われる。

行政改革の推進

前市長と同じ考えか

質問 行政改革大綱の推進に当たって、田村前市長も自治省の指示とは関係なく、市独自のものとして考えていくとの答弁であった。石川市長も継承していくとのことであり、全体としての基本的な考えはどうか。

市長 先ほど答弁したが、新時代に即応し、住民福祉の充実したまちづくりを進めるため、田村前市長が策定した行政改革大綱の基本方針を継承し、市独自の行政改革を進めていくつもりである。

市民参加による

福祉センターの建設を

質問 福祉センターの建設に当たって基本的な問題から是非市民参加によるプロジェクトを設置し、一般市民の将来の福祉について諮問するのがベターではないかと思うがどうか。

市長 先ほど答弁したが、将来展望に立った計画をし、現在はその以前の事務レベルでのプロジェクト

クトで研究をさせている段階であり、議会にも相談して進めていきたいと思う。

外録事務に対する

基本的な姿勢は

質問 外国人登録法が改正されカード方式になったが、この指紋の押捺拒否者が当市にも二人おり、国では告発の指導を自治体に行っている。しかし現実にはやらないのが実態だが、これらに対する市長の基本的な姿勢と、窓口事務における対応について聞きたい。

市長 六月一日から法律が改正されたが、今後も機関委任事務として外国人登録関係法令に沿って処理をしていきたい。また、指紋押捺拒否者に対しても、今までどおり慎重に対処していきたいと思う。

市民部長 昨年は二人の拒否者がいたが、その後一人転出したので現在は一人になっている。刑事訴訟法等により告発の方法もあるが、この制度の問題点を含め、都や他市の動向を見ながら対応していきたいと思う。

引き込み線跡地の整備

歩行者優先道路の考えは

質問 ① 加美平立体交差周辺

は、ちょっととした雨でも水たまりができ市民も迷惑しているが、この雨水排水対策を聞きたい。

② 本町六町内も整備されつつあるが、予定されている公園に隣接の旧引き込み線跡地を、歩行者優先道路として整備する考えがあるか。

建設部長 ① 加美平地域の雨水排水はすべて都市下水路に流れており、都市下水路の問題が解決しないと、この地域の抜本的解決策はむずかしいと思うが、取水ます等の改修により少しでも解決したいと思う。

② 六十四年度に、この周辺に公園の設置を考えているが、旧砂利線も関係者の理解が得られれば、一体的に整備したいと思う。

婦人行動計画の

策定の考えは

質問 わが国の憲

法では人間尊重を基調とし、男女差別されることなく平等であることを保障している。しかし長い歴史の中で培われた男女差別の思想は、なお人々の意識の中に根強く残っていると

思われる。将来に向けての男女共同参加型の社会が到来していることから、当市における婦人行動計画の策定について聞きたい。

市長 当市としては、六十年代

の世論調査やプロジェクトにおける検討結果をもとにし、基本計画を修正して施策を進めているが、単独の婦人行動計画は策定していない。区部では五二%、市では五四%の策定状況だが、この婦人問題は、日本が六十年に国連で批准した「婦人に対するあらゆる形態の差別撤廃に関する条約」の精神をもとに進めるべきであり、実現性のある計画と施策の実施をするため、今後も十分研究していきたい。

旧砂利線の橋

かけかえの要請を

質問 かに坂公園入口の上水にかかる旧砂利線の橋は古くなり、かに坂公園が広域避難場所となっている以上、早急にかけ替えすべく要請をすべきと思うがどうか。また、側道の整備について伺いたい。

建設部長 確かに橋も老朽化しているもので、全体的に周辺にマッチした形で整備していきたい。

上水沿いの側道整備については全体の環境を損わない形で整備できればと思っている。

議会日誌

4月

8日 東京都市議会議長会四月臨時総会

15日 三多摩上下水及び道路建設促進協議会正副会長・委員長会議

19日 議会報編集会議

20日 三多摩地区消防運営協議会通常総会

27日 関東市議会議長会総会

28日 多摩地区離職対策連絡協議会

5月

10日 三多摩上下水及び道路建設促進協議会理事会・総会

12日 東京都市議会議長会五月定例総会（13日まで）

18日 西多摩議長会

24日 全国市議会議長会基地協議会正副会長・監事・相談役会議（25日まで）

6月

1日 全国市議会議長会総会

2日 三鷹・立川間立体化復々線促進協議会総会

JR 駅周辺の

整備構想について

質問 当市にはJR駅が五カ所あって、その周辺の整備がまたれられている。

① 福生駅周辺としては、第一小学校は教育環境として適地ではないと思われるので、仮称第八小学校用地に移転させ、運動場の下を地下駐車場として利用する考えはあるか。また、東口の富士見通りの整備に関連して、モデル商店街事業として完成した基地前商店街と一体的に考え整備をしたらどうか。

② 八高線東福生駅の乗降口も一カ所ではなく、東西の跨線橋として考えたらどうか。

③ 熊川駅も田園地区の発展とともに利用客がふえつつあるが、ここも乗降口が一カ所であり、道路を整備して東西で利用できるようにすべきと思うがどうか。

④ 拜島駅周辺も線路で分断されているので、南北通路を設置する考えがあるか。

⑤ 牛浜駅については、東側の駐輪場と古くなった公衆便所の改修の考えについて伺いたい。

教育次長

① 通学区域の問題や教育環境等の条件から考え、現在のところ移転する理由はないと考えている。

建設部長 ① 富士見通りは、都への移管も予定されており産業道路から国道までの整備ということになるが、八高線との交差もあって大規模な工事となり、六十四年度に調査を予定している。

② 駅の利用者も多くなってきたので、ご指摘の点について要請したい。

③ 道路も非常に狭く利用者にも不便をかけているが、関係者とも交渉しており、できるだけ早く整備できるよう努力していきたい。

④ 先ほど答弁したとおりである。(4ページ参照)

⑤ 東側に一部用地が借りられそうであるので、効率的に整備していきたい。

市民部長 ⑤ 公衆便所も大変古くなり、時代にマッチしたものを設置するためJRとも協議中である。

平和祈念事業を 実りあるものにするために

質問 平和祈念事業費として初めて講師謝礼が予算計上されているが、しかし実施に当たって特定の団体と共催するようである。この事業を実りあるものにする考えなら、どんな団体でも参加できるようにすべきだと思うがどうか。

市長 世界の恒久平和を築くために、世界連邦運動で活動され、また、当市の助成団体でもある世界連邦建設同盟福生支部と共催して実施する考えであり、市広報等

で一般市民にも周知したい。

中学校給食の

諮問機関設置の見直しは

質問 中学校の給食問題については、諮問機関を設けて検討したいということだが、いつ頃発足するのか。

教育次長 昨日も答弁したが、諮問機関である審議会において検討していただくため、その設置に向けて慎重に進めている段階であるが、この関連予算を来年度に計上したいと思っている。

2日 多摩地域都市モノルール

等建設促進協議会総会

3日 議会運営委員会

10日 第二回定例会(一日目)

13日 第二回定例会(二日目)

14日 建設委員会

16日 厚生委員会

17日 総務委員会

21日 議会運営委員会

23日 第二回定例会(三日目)

27日 横田基地対策特別委員会

行政視察(29日まで)

人事

人権擁護委員候補者に

服部氏・井上氏を推薦

十一月中旬で任期満了となる同委員の候補者の推薦を市長より提案されたため、議会では次の両氏を適任者として全員一致で推薦しました。

服部照親氏(熊川二〇番地)

井上久彌氏(福生四八七番地)

横田基地に対する 石川市長の見解は

質問 石川市長にとっては初の定例会であり、横田基地に対する見解を明らかにするため、次の事項について質問する。

① 市の下水道使用料条例第二条第二項の規定により、横田基地の下水道使用料を一年間で約三千万円も

のサービスをしているが、この点の見解を聞きたい。

② 米軍人軍属の所有する軽自動車税は、一般市民の三分の一から四分の一もサービスしている。この不公平をどう考えているか。

③ 飛行機騒音の測定は、リサイクルセンターだけでふやさないということだが、市民への影響を

把握することなら測定地をふやすべきである。また、測定データの公表について伺いたい。

④ E2Cの訓練には、田村前市長も反対の意思表示をしたが、ブルーインパルスの曲技飛行の中止要請はしないとのことであったが、昨年は結果的に中止になった。市長はこの点どう考えるか。



軽減されている米軍人等の軽自動車税

ばれており、五月に更新されたが、これには市の消防団員も含まれている。相互協定ではなく一方的な応援協定であり、市長の見解を聞きたい。

⑥ 米軍人軍属の市内居住がふ

え、近隣騒音と違法駐車等、生活モラルの問題が多発しているが、こうした実態把握と基地への申し入れをしたのか。

⑦ 固定資産税に見合う分としてのいわゆる交付金は、ここ数年国の予算がふえないため、十一億五千万円で横ばいとなっているが、しかし、一般市民の固定資産税総額は七〇%もふえている。以前から基地の資産について、福生市案をつくったらどうかと提案しているが、基地交付金に対する考えを伺いたい。

市長 ① 現行条例は下水道法の原則に沿って定められており、基地も一般市民や事業所と同様の算定方式で徴収すべきだと思っている。したがって横田基地に限って、この第二条第二項の適用を除外する考えはない。

② 日米合同委員会において合意された税率であり、一自治体の考えのみでこれを変えることはむずかしく、現時点では不均一課税を中止する考えはない。

③ 従来の方でやっていきたくて、なによりよい方向について考えていきたい。

④ E2Cの飛行訓練で、市民生活環境が損われることは好ましくないもので、近隣市町村とともに中止要請をしていきたい。

曲技飛行については、昨年の東京高裁で、日米合同委員会の合意事項に違反する旨の判断が示されたので、これを尊重していく考えである。

⑤ 五十七年から東京消防庁と米空軍との間で火災予防や災害から人命、財産の保護等について相互協定を締結したもので、従来から市の消防団員も含まれており、特に問題はないものと思う。

⑥ 昨日も同趣旨の質問に答弁したが、できるだけ実態を把握してしかるべき対応を考えたい。

⑦ 法の定めにより、米合衆国軍隊が日本国で使用または所有する固定資産は非課税となっており、基地交付金はこれに代わる財政補給金的なものとして交付されているものである。今後も全国基地協議会等を通じて増額運動をしていきたい。

市民部長 ⑤ 東京消防庁と米空軍との間で結ばれた協定であり、この公表は消防庁との関係もあり考えていない。



夏休みはもうすぐ（2小で）

教育次長 都の学
校運営標準により
公、私の負担を区分
して実施しており、
修学旅行費は父母負
担としてお願いして
きた。しかし、補助教
材費は一定額によっ
て補助金を出してき
たもので、ある程度
受益者負担をしてい
ただく考えである。

質問 学歴社会といわれる中
で、義務教育費の父母負担も年々
ふえつつあるが、例えば中学校の

修学旅行費の補助も一人八千四百
円、教材費が一人千八百五十円と
低額であり、これらの補助金を増
額する考えがある
か。

補助金増額の考えは

年々ふえる教育負担

質問 全国の千百を超す地方自
治体で非核都市宣言をし、大きな
流れとなっているが、この宣言に
ついての考えを聞きたい。

考え、新たな宣言は必要ないと思
っている。やはり国是ともいうべ
き非核三原則を国が厳正に遵守す
ることが肝要かと思う。

非核都市宣言を当市でも

大きな流れとなっている

市長 当市でも四十五年に世界

《反対》

本会議場における討論の概要

《賛成》

昭和63年度福生市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）

★本予算は、当市の国保事業を関係者から評価され
た結果、1,200万円が特別交付金として交付された
もので、これをもって不測の事態に対応するための
予備費と煩雑な事務作業の改善及び能率の向上を図
るため、パーソナルコンピューターの導入に充てよう
とするものである。

このことは、正に行政改革の一步と考えられ国保
会計の理念に合致しており、今後、ますます本事業
が健全かつ安全に運営されることを願望する。

★本会計補正予算は、国庫特別交付金、1,200
万円が交付されたことによるもので、本来なら
国保事業は国の責務であるにもかかわらず、一
方的に負担金を削減したうえ三年連続して保険
税を値上げし、国の責任を地方自治体や被保険
者に転嫁した結果の交付金である。

したがって、本交付金を予備費や備品購入費
に充当することなく、高い保険税に苦しんでい
る被保険者に還元すべきである。

非核・平和福生市宣言制定に関する陳情書

★全国的に核兵器の廃絶を求める国民的な運動の中
で、非核都市宣言をする自治体が1,200に迫り自治
体数の3分の1になっている。

世界に5万発の核兵器があると言われている 現
在、なお一層の廃絶運動を求め核兵器にしがみつ
く勢力を孤立させなければならず、いつまでも宣言を
拒否し続けることはしがみつ
く勢力を喜ばすもの
でもない。

★本陳情書と同一内容のものが議会毎に提出さ
れ、その都度不採択とされている。

当市は昭和45年12月に世界平和都市宣言市と
なり、当議会においても、核兵器の脅威から人
類を守り戦争を防止しようとする非核三原則堅
持に関する意見書等を可決しており、本陳情書
の趣旨はすでに全うされているので、あらため
て宣言をする必要はない。

国保運営についての

市長の考え方を

質問 国民健康保険事業の加入者は自営業者等が多く、国庫負担が削減され、その運営が苦しくなっている。国保税が値上げされたために納めきれなくなった加入者がふえている。このような状況の中で、次の点について聞きたい。

① 国民健康保険法の改正による今後の影響はどうか。

② 国保税を納めきれない加入者に対し、市独自の減免制度を設ける考えがあるか。

③ 当市における保険証の未交付状況はどうか。

④ 都のペナルティー中止も当然だが、補助金の充実も大切と思うがどうか。

⑤ 国庫負担率を、もとの四五％にする運動をしているか。

市長 ① 保険事業安定のため、新たに一般会計から保険税の軽減額を繰り入れし、その五〇％を国が、五〇％を都と市で負担することになった。また、老人保健医療費拠出金の国庫負担が現行より二・六％程度減額になる。

② 独自の減免規定は設けないが、国保条例第十四条の規定により対処していきたい。

③ 保険証の未交付対象者は現在のところいないが、長期滞納者には保険証に替え資格証明書を交付することになった。

④ 都の要綱により交付されているが、今後も市長会等を通じて、引き続き補助金増額の運動をしていきたい。

⑤ 現在は三八・五％程度だがこれをもとの四五％にすることはなかなかむずかしいと思われるが運動は今後も続けていきたい。

市民の声を反映させ

有効な利用を

質問 片倉工業跡地に総合福祉センターを建設するとの話を耳にするが、約一万六千五百平方メートルもの広大な土地は市民の財産でもある。この活用にあたっては計画の段階から市民の声を反映させ、市民本位の有効利用を図るべきだと思うがどうか。

市長 この跡地利用計画については、事務レベルのプロジェクト

で検討しているが、福祉センターを含め有効利用について慎重に対応していきたい。

高齢化社会に向けての

老人福祉対策は

質問 最近における急速な高齢化により、当市でも年々お年寄りがふえ、老人福祉対策の充実が今

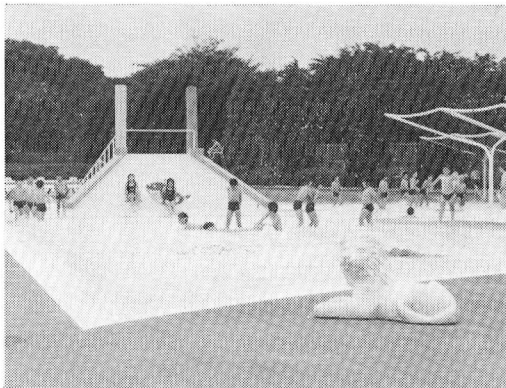
年間利用できる

屋内プールの建設は

質問 現在の市営プールでは年間二カ月しか利用できないが、こ

ほど求められているときはない。そこで老人入院見舞金制度や老人アパート提供事業、あるいは託老所の設置等の考えがあるか。

市長 急速なテンポで進む高齢化社会に向けて、高齢者対策全般を研究すべきではないかとの貴重なご提言が一般質問としてあったので、ご指摘の点も含めて今後研究していきたい。



今年もここで君達が主役だ
7月1日オープンしたプール

れを屋内プールにすれば効率的に年間利用ができ、健康促進にもなるが、どう考えるか。また、現施設の維持管理の状況についても聞きたい。

教育次長 過去にも屋内プール化について調査研究したが、現在の位置や管理運営面等に問題があるということであった。

現施設の管理は、開場期間中は、業務を委託しており、開場前には高齢者事業団に除草等の委託をしているが、冬期も美観上等の対応を考えていきたい。

基地の容認は 市民生活のためか

質問 ① 横田基地の位置づけとして市長は、容認した上で財源確保を中心とした市政をすると思われるが、市民生活を営む上でためになるかと考えているのか。騒音問題等どう対処する考えか。

② 国道を隔てて基地と隣接して市民が生活しているが、基地のゲートに日本人労働者がけん銃を携帯して警備しており、非常に危険である。市としてどう事実を確認しているのか。

市長 ① 基本的には当市に基地がない方が好ましいが、両国の条約に基づき存在する以上、容認せざるを得ないと思う。基地から発生するさまざまな影響は、国で措置すべきであり、より一層、周辺対策事業の充実を図るよう国に要請していきたい。

基地をマイナスとしないで、プラス要因にする考えを模索する必要があると思っている。

② 横田基地の広報部に問い合わせたところ、日米地位協定により在日米軍施設内の警備のため、必

要な措置として警備員にけん銃を所持させているということであった。

社会経済の変動に合った 生活資金貸付事業を

生活資金貸付事業を

質問 生活困窮者の救済事業としての生活資金貸付事業は、社会経済の変動等もあり、この限度額や条件を拡大したらどうか。

市長 不時の出費等で生活に困っている場合、緊急援護資金として社協に委託して実施しているが、現行の形で今後もやっていきたい。

平和祈念事業は 多くの団体を対象に

質問 平和祈念事業として、世界連邦建設同盟福祉支部に市から五万円の補助金が予算化されているが、平和運動をしている団体はほかにも多く、原水爆禁止三多摩会議も歴史的運動を積み上げてきた団体であり、そうしたところに補助すべきと思うがどうか。

市長 原水爆禁止運動を行っている団体も多いが、三多摩会議に

は例年賛助金として援助しており、今後もその方法で措置する。

活躍が期待される ボランティアの育成を

質問 高齢化の進む中で、これからの福祉は在宅福祉ともいわれボランティア活動のウェイトが大きくなっていくと思う。今後のボランティアの育成について伺いたい。

市長 活力あるまちにするにはボランティア活動が大きな要因といっても過言ではない。当市のボランティアは十団体、個人を含め約三百人の方が活躍されており大変感謝している。高齢化社会や核家族化による家庭環境の変化等により、これからの福祉社会を築くうえで欠くことのできないボランティアの育成強化に努めるとともに、あらゆる機会を通じて一般市民にも理解を得るようPRしていきたい。

遺跡、伝統芸能の 保存対策は

保存対策は

多いが、今後の保存対策について聞きたい。

教育次長 文化財保護条例を制定し、貴重な文化遺産の保存に努めている。また、総合調査を実施し、実態の把握にも努めている。今後もこうした文化遺産や伝統芸能等の保存に努力していきたい。

外国人の採用試験 国籍要件の撤廃を

国籍要件の撤廃を

質問 公務員の職員採用試験の資格から「日本国籍を有する者」という要件を撤廃する自治体が多くなったが、当市の外国人の採用試験の状況と撤廃の考え方を聞きたい。

市長 採用試験資格要件から「日本国籍を有する者」を撤廃する傾向にあるようだが、従来より国や都は公務員の受験資格の国籍要件について、公権力の行使、または公の意志の形成に参画する職に、外国人を任用することはできないとの見解をとっており、当市もその趣旨に沿って対処していきたい。

また、一般的な技能労務職には、この要件はないが、現在まで外国人の受験者はなかった。

質問 当市には多くの遺跡が発掘され、伝統的な芸能等文化財も

都市化による自然の減少

制度の改正や新たな施策を

質問 急速な都市化によって緑や空地が少なくなり、今後は市民と協調しつつ全体の調和を考えな

がら保全に努めていかなければならないと思う。そのために現行の保全制度を充実するか、新たな施策を考える必要があると思うがどうか。また、空地としての農地の確保と、食糧の安全性や自然環境を守るため、今後の農業政策について伺いたい。



熊川分水でオオヤマトンボ(オニヤンマ)の羽化

市長 緑地の買収や奨励金の支給等の施策で保全を図ってきたが、今後も緑の保全は重要な課題であり、より積極的に考えていきたい。また、住宅の密集した都市農業としての施策も、農地のもつ意味から考えると大変むずかしいわけで、関係者のお考えを聞きながら研究していきたいと思う。

陳情・請願

不採択

○陳情第六十三―十六号 「非核・平和福生市宣言」制定に関する陳情書

福生市福生一、一四二―一六
沢本 早苗氏
―昭63・3・12提出―

継続

○陳情第六十二―二十一号 三宅島米空母艦載機夜間離着陸訓練基地建設計画に関する陳情書

三宅村坪田一、七七四
持丸 教能氏
―昭62・12・9提出―

○陳情第六十三―二二号 保健、医療、福祉の拡充に関する陳情書

杉並区成田東四―一三―一六
加藤 毅氏
―昭63・2・24提出―

○陳情第六十三―三三号 国庫負担を減らし、自治体と被保険者負担増をもたらす国民健康保険法の改悪に反対する陳情書

福生市福生一、一四二―一六
沢本 早苗氏
―昭63・3・7提出―

○陳情第六十三―四四号 名称・形

式を問わず大型間接税の導入に反対する陳情書

福生市福生二、三五六―一五
今村 昭六氏
―昭63・3・7提出―

○陳情第六十三―五五号 入院ベッドの確保に関する陳情書

福生市熊川五三一―一一
岩本寅次氏他六百十四人
―昭63・3・7提出―

○陳情第六十三―七号 ひまわり共同作業所に対する補助金交付に関する陳情書

福生市熊川九五―三四七
山崎 正三氏一人
―昭63・4・26提出―

○陳情第六十三―八号 ジュネーブ条約追加議定書の加入に関する陳情書

福生市本町一〇〇
尾上武市氏
―昭63・5・23提出―

取り下げ

○陳情第六十三―一〇号 「ひまわり作業所」に対する補助金交付に関する陳情書

福生市熊川九五―三四七
山崎 正三氏
―昭63・2・22提出―